

● 議会改革特別委員会

委員会では、勝山市議会議員定数条例の一部を改正※し、2名削減して14名とすることについて再度確認を行いました。

また、タブレットを使用した完全ペーパーレス化を実施するなど本格的な運用に努めていますが、議会活性化のため有効的な活用方法について協議しました。

その他、新型コロナウイルス感染症や大規模な災害等における議会のオンライン参加導入に向けて、先進事例を学習していくことを確認しました。このことについて委員からは、実際に試行を行ってはどうかなどの提案が出されました。

※詳細は議会だより第83号をご覧ください。



クーポンを使ってお菓子を食べよう!

事業名：店舗型和洋菓子店応援クーポン事業補助金

事業目的：新型コロナウイルス感染拡大や原材料価格・物価高騰の影響を受け、厳しい経営状況を強いられている市内の和洋菓子店の利用を促し、地域経済の活性化を図る。

配布方法：500円×2枚クーポン付きの広報プラス版を全戸配布する

使用期間：8月1日～9月30日

対象店舗：市内店舗型和洋菓子店（感染予防推進宣言ステッカーが貼ってある店舗）

事業費：239万4,000円

委員：これまでの応援事業は店舗での飲食が主であったが、今回はテイクアウトが主になる。コロナ禍においてはテイクアウトの方が利用しやすく需要が高いと考えられるが、仮に予算を超えた場合はどのように対処するのか。

理事者：予算を超えた場合は、補正予算で対応したい。

一般質問 議：議員／理：理事者

○ 公園の利活用について
○ 「にこにこ地域づくり基金」について

その他の質問

- ・中部縦貫自動車道県内全線開通を見据えて
- ・新地方公会計制度について

新風会・公明
竹内和順
議員

近年、特に公園に限定した市民からの意見聴取や調査を行っておらず、詳細な利用状況や評価を把握できていないが、今後必要に応じて市民のニーズや評価などの把握に努め、施策に活かしていきたい。

議 市内の公園を見渡しても子どもたちの遊ぶ姿などを見かけることは少ない。きれいに管理されている公園、そうでない公園といるいる。公園や緑地、広場などの都市空間は、市民の皆さんの生活とまちづくりには欠くことのできないもの。都市公園の管理、利活用について見解を伺う。

理 市は33箇所の都市公園を都市公園法や勝山市都市公園条例などに基づき、市民の活動の場、憩いの場として安全性の確保を目的として維持管理している。年2回、職員が直接目視や触手による遊具等の施設点検を行い、重要度や緊急度を考慮した修繕を行っている他、点検結果を勝山市公園施設長寿命化計画に反映し、必要に応じて計画を更新している。また、日常の清掃や草刈り等は業務委託や地元区の協力を得て実施している。

議 2億5250万円の「にこにこ地域づくり基金」が創設され、市内全7地区の特性を活かし、住民が主体となつた地域振興や地域「コミュニティ」活動を活性化させるため、今後10年間に各地区区長会に交付される。

理 行政評価は「評価すること」が目的ではなく、「評価することを通じて、行政の仕事をもっと変えていき、より良くしていく」ことを目的としているという考えに則って、今回の事業の行政評価をどのように考えているのか伺う。

議 地域活性化の政策の手法として「にこにこ地域づくり基金」を選択した。この政策に対して「市民にとってどのような効果があったか」、「当初の目的どおりに成果があがっているか」といったことについて評価検証を行うっていくことになる。

議 この政策をより良いものとするために各地区に課長級・若手の職員2名ずつが担当する地域担当職員制度を導入し、事業のフォローアップを行いながら、効果的に進むよう努める。